

## 第6回国際成人教育会議（CONFINTEA）のための国内「草の根会議」

市民社会組織（CSO）レポート 全体構成素案 2009/01/21 荒井

はじめに 「草の根会議」の意図、

市民社会レポートの目的・性格

- ・ 日本の社会教育の現状と課題を多様な市民社会組織共同でとらえ  
かえず（見解の相違の存在確認も含め）
- ・ それぞれの市民社会組織の活動実績・課題の共有（共通確認）
- ・ 以上の総括のもとに国際成人教育会議での議論に臨み、その成果を生かすための下準備とする。
- ・ その他

### 1 過去12年の日本社会の変化・課題と成人教育の位置・・・概観

1997年～

たとえば・・・

ここ数年顕著になった「格差」問題はすでに90年代からはじまっていた

・・・グローバル経済展開の中での

教育・福祉政策の限界・変質

外部委託・市場化

生涯学習政策の挫折

### 2 法制度の変化

社会教育法「改正」

教育基本法「改正」

生涯学習振興整備法の無力性の露呈

### 3 予算の動向

#### (1) 国

全体としての社会教育予算 削減傾向

文科省・教育委員会（・・・）

国 公民館・派遣社会教育主事

図書館？

博物館？

施設政策

職員政策

労働部門？

福祉部門は？

文化庁？

外務省？・・・海外支援？

( 2 ) 地方自治体

地方分権施策・合併施策の中で

全体の傾向

### **3 各分野での市民組織活動の動向・・・注目すべき実践・研究の提起も含め**

( 1 ) 運動・実践・・・研究運動も含む

1 ) 国内運動部門

2 ) 海外支援部門

( 2 ) 研究(学会)

学会の創設